

家庭向け・法人向けネットワーク製品の違い【無線LAN製品編】

ノートパソコンやスマートフォン・タブレットで無線LANを利用されている方も多くなっております。無線LANを使用するのに家電量販店などで販売されている家庭向け製品を使用されている方も多いと思いますので、家庭向け製品と法人向け製品の違いについてご説明したいと思います。

現在の無線LANの通信規格はIEEE802.11a/b/g/nや最新のIEEE802.11acに対応しているのが一般的であり、家庭向け・法人向けの製品で通信方式や帯域そのものが異なるなどの根本的な違いはありません。にもかかわらず家庭向けと法人向けでラインナップが分かれているのはいくつか違いがありますが、そのうちの1つをお話しします。

・家庭向け製品と法人向け製品の一番の違いで重要な事、それは「同時接続数」

家庭向け製品では同時に接続するデバイスの数は多くても家族の人数より少し多い程度で、**最大利用台数は「10~20台以下」**を推奨している製品が多いです。

対して法人向け製品では同時に多くのクライアントが通信するのを想定して設計されているので、**最大の利用台数は「10台~50台」**の製品が一般的です。

「ウチはそんなにパソコンの台数多くないから安い家庭向け製品で大丈夫」と思っていたら、パソコン・スマホ・タブレット等含めたら数十台になっていて**無線の通信が切断されたり不安定になる**・・・というご相談をされる事が最近数多くあります。

法人向け無線LAN製品は「**多くのアクセスポイントを**」「**多人数（デバイス）で**」「**効率よく利用する設計**」
家庭向け無線LAN製品は「**少ないアクセスポイントを**」「**少人数（デバイス）で**」「**家中どこでも利用できる設計**」と、基本の設計思考が違います。

上記のような違いがあるので、少ない台数・限定的な無線LANの利用であれば大きな違いがありませんが、社内のノートパソコンを全部無線LANにしたいという場合は、法人向け製品が必要になってきます。



アライドテレシスの法人向け無線LANアクセスポイントAT-TQ3400
最大接続台数は200台



バッファローの家庭向け無線LANルーターWSR-2533DHP
推奨利用台数は18台

ちなみに弊社では数十台のデバイスを無線LANで運用しているノウハウがありますので、ご検討の際はぜひ担当営業にご相談頂ければと思います。

4月11日よりWindows 10の次期大型アップデート「Creators Update」が提供開始されます

Windows 10の次期大型アップデート「Creators Update」が4月11日より提供開始されます。2016年8月に提供された「Anniversary Update」に次ぐ大型のアップデートで4月11日以降Windows Updateにて自動的に提供されます。

「Windows Defender Security Center」などの新機能がいくつか追加されるなど大幅なアップデートで数GBのプログラムがダウンロードされる見込みです。

その為WindowsUpdateによるセキュリティ更新プログラムリリース時と同様にネットワーク接続がしにくくなる可能性がありますのでご注意ください。

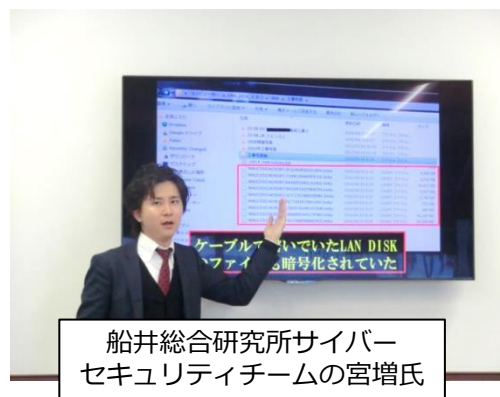
また、ソフトウェアが「Creators Update」の対応状況が不明の場合、動作に影響が出る場合がありますので、以下の設定で数か月(約4か月程度)アップデートを見合わせる事が可能です。

- 1 左下の[スタート]メニューをクリックして[設定]をクリックします
- 2 画面内に表示される[更新とセキュリティ]メニューをクリックします
- 3 左メニューが[Windows Update]を選ばれている事を確認し右画面にある[詳細オプション]をクリックします
- 4 [アップグレードを延期する]をクリックをしてチェックをつけます
- 5 以上で設定は完了です

「サイバーセキュリティ月間」に合わせてセミナーなどの普及啓発活動を実施しました！

政府機関や関係機関・団体等で2月1日から3月18日まで「サイバーセキュリティ月間」として普及啓発活動を行っていました。株式会社高山では「サイバーセキュリティ月間」に合わせて今年1月～3月まで3ヶ月連続でマルチルームにてサイバーセキュリティセミナーを開催いたしました。

3ヶ月合わせて26名の地元企業の方々にご参加いただき、「サイバーセキュリティについて知らないことがいかに怖いことがわかった」「何をどう守るべきなのかわかっていなかった」等の感想をいただき、とても貴重な情報を聞くことができたとお声をいただきました。



船井総合研究所サイバーセキュリティチームの宮増氏

また3月24日には、仙台卸町にあるINTILAQ東北イノベーションセンターにて開催された、サイバーセキュリティの第一人者である齋藤ウィリアム浩幸氏のサイバーセキュリティセミナーを受講して参りました。

論点は、今後もサイバー攻撃はより人の心理を付いた巧妙な攻撃が増えていき、最新の生の情報を知っていく必要があるとのことでした。

株式会社高山は、地元企業の皆様のネットワークの安心・安全を守るために、最新情報の収集を行い、その情報をわかりやすく提供していきます。

INTILAQ 高度 IT 人材育成シリーズ
たった1分でわかる!サイバーセキュリティIII 箇条
~あなたのビジネスは「安全」ですか?~
3月24日(金)
19:00~21:00 (入場無料)
内閣府参与
一般社団法人 IMPACT Foundation Japan 代表理事
齋藤ウィリアム浩幸

内閣府本府参与
齋藤ウィリアム浩幸氏

発行：株式会社高山 〒985-0021 宮城県塩竈市尾島町10番18号

高山 塩釜

検索

★★☆☆お問合わせはこちらまで☆☆★★
TEL：022-362-3181 FAX：022-367-3380
URL：http://www.tkym.co.jp
Facebookページ：https://www.facebook.com/takayama.miyagi/

